

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-157338

(43)Date of publication of application : 13.06.2000

(51)Int.Cl.

A46B 9/06

A46B 9/04

A61C 17/00

(21)Application number : 11-114824

(71)Applicant : KAO CORP

(22)Date of filing : 22.04.1999

(72)Inventor : SUZUKI AKIRA
MAEDA AKITSUGU

(30)Priority

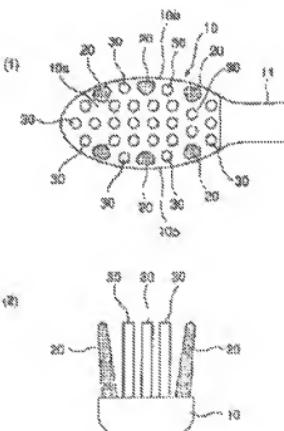
Priority number : 10271722 Priority date : 25.09.1998 Priority country : JP

(54) TOOTH BRUSH

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a high massage effect for the gum, especially its edge part and a dental papilla by planting a part of the longitudinal edge part of a bristle planted bed surface with rubber-like straight bar brush obliquely outward.

SOLUTION: Rubber-like straight bar brushes 20 with rounded tips are planted in the opposite longitudinal edges 10b of a bristle planted bed surface 10a of a bristle planted bed 10 connected to the forward end of a grip 11 with a gradient of about 10 outward from the longitudinal edge part 10b. The tip of the rubber-like straight bar brush 20 is arranged substantially on the same horizontal plane as the tip of a bristle bundle 30 planted in erect state in the bristle planted bed surface 10a. As the rubber-like straight bar brush 20 is a straight bar-like body not to be bent to the tip, the force is easily applied to the gun in any direction so as to obtain a high massage effect, and as it is inclined outward, it will not be an obstacle to the sordes removing action of the bristle bundle 30 planted in the bristle planted bed surface 10a. When the rubber-like



straight bar brush 20 projects over the bristle bundle 30, such effect for the edge of the gun and the dental papilla is further made excellent.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 11.08.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3308226

[Date of registration] 17.05.2002

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(10)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-157338

(P2000-157338A)

<62>公開日 平成12年6月19日 (2000.6.19)

(21)Int-CL
A 46 B 9/06
9/04
A 61 C 17/00

識別記号

P 1

A 46 B 9/06
9/04
A 61 C 17/00

トロト (参考)

2 B 2 9 2

L

審査請求 未請求 請求項の数 5 O 1 (全 4 頁)

(21)出願番号

特願平11-114834

(22)出願日

平成11年4月22日 (1999.4.22)

(31)優先権主張番号

特願平10-271722

(32)優先日

平成10年9月25日 (1998.9.25)

(33)優先権出願国

日本 (JP)

(70)出願人

花王株式会社
東京都中央区日本橋室町1丁目14番10号

(72)発明者

鈴木 明
東京都墨田区文花2-1-3 花王株式会社研究所内

(73)発明者

前田 黒嗣
東京都墨田区文花2-1-3 花王株式会社研究所内

(74)代理人

弁理士 寺賀 三幸 (外4名)

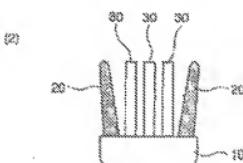
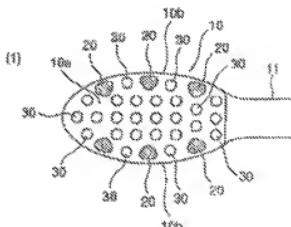
Fターム (参考) SE202 M09 A002 B002 E011 E003
E001 E006

(54)【発明の名称】 髭ブラシ

(57)【要約】

【課題】 鬚剃の歯先はしとより、巻ぐき、特にその辺縁部と乳頭部に対し、高いマッサージ効果が得られる鬚ブラシの提供。

【解決手段】 鬚毛台面の長手辺縁部の少なくとも一部に、ゴム製圓柱状刷子を外方向に傾斜せしめて構成;更にゴム製圓柱状刷子を鬚毛束より突出せしめて構成;更にゴム製圓柱状刷子を鬚毛束と交互に配置;ゴム製圓柱状刷子を鬚毛束と交互に、かつ鬚毛束より突出せしめて直立状態に構成。



3

【0013】面して、斯かる実施の形態によれば、ゴム底除抜装置20が先端部まで前曲していないストレートな棒状体であるので、何れらに巻き付くに力が加わり易く、黒いマップテープの効果は得られると共に、外方向に傾斜しているので、被毛台面10aに巻きされていいる頸毛球30による椭圓形除去作業の効率になることはな

〔0014〕また、当該ゴム練達繩状断子20は、横毛台10の内側端に比し外側端に於て巾広となった第三弓形状の横断面形状を有しており、使用時に横毛台10の外側端にたわみ易いようになっている。更に、当該第三弓形断面における各部は、通常お咲が付加され、シントラム

100.3%と、一ヶ月間の平均値の95.0%との比較から、この指標が得られるようになっている。

（リラックス）：「これが新規特許技術に対する販売権としては
ステレン・ブタジエンゴム、エチレン・アロビレンゴム、
シリコーンゴム等のゴムあるいは合成樹脂等のその
如前を問わず、また繊毛束30の材質としては天然毛あるいは
サイコロンやボリプロピレンテフレタート要等の人

モダニズム建築の特徴を示すもので、ゴム複数枚状刷子20の先端が、縦毛台面10aに直立状態で複数枚並んで配置されている縦毛束30の先端より約2mm程度突出して配置されている以外は、前面11に示す第1の実施の形態と同様に構成されている。すなわち、この実施の形態におけるゴム複数枚状刷子20は、縦毛台面10aの長手辺縁部10b外方向に傾斜し、かつ縦毛束30より突出して複数枚並んで配置される。

〔00171〕面して、斯かる実験の形態によれば、ゴム複数筋状羽子26が剛毛束30より突出しているので、歯ぐきの辺縁部と乳頭部に対する更に優れたマッサージ効果が得られる。

10018) は第3の疾患の発現を示すもので、主

ム柳直棒状網子20 g、繊毛合面10 gに横糸をせしめることなく直立状態に複数設けている以外は、図2に示す第2の網眼の形態と同様に構成されている。すなわち、この実施の形態におけるム柳直棒状網子20 gは、網眼30 gと互反し、かつ網孔を30 gの先端より突出せしめて直立状態に横糸をせしめている。

【0019】画して、斯かる実施の形態によれば、ゴム様直線状剛子20が一ヶ所に集中することがなく、しかも剛毛束30より突出しているので、亟ぐの刃線部と19 乳頭部に対する優れたマッサージ効果が得られる。

100201

【発明の効果】本発明装置を用いれば、歯垢の除去はもとより、歯ぐき、特にその歯縫部と乳頭部に対する高いマッサージ効果を得ることができる。

〔西面の高さと説明〕

【図1】本発明のブラシの第1の実施の形態を示すもので、(1)はその被毛台部の平面模式説明図、(2)は同左側面模式説明図。

【図2】水塊崩壊プロ

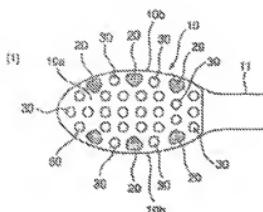
20 て、(1) はその基毛白癌の平面模式が明瞭、(2) は
列状癌の模式が明瞭。

【図3】本発明のブラシの第3の実施の形態を示すもので、(1)はその極毛苔部の平面模式説明図、(2)は同左側面模式説明図。

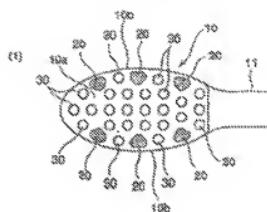
【符号の説明】

10a:後毛脚部
10b:長毛脚部
11:钢管
30 20:ゴム機械等状況
30:鋼生産

2004



23



133

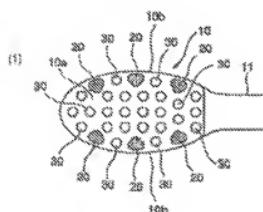


Diagram showing a column divided into three segments, each labeled '30'. The total height of the column is indicated as '100' at the bottom, with '20' on either side of the base.